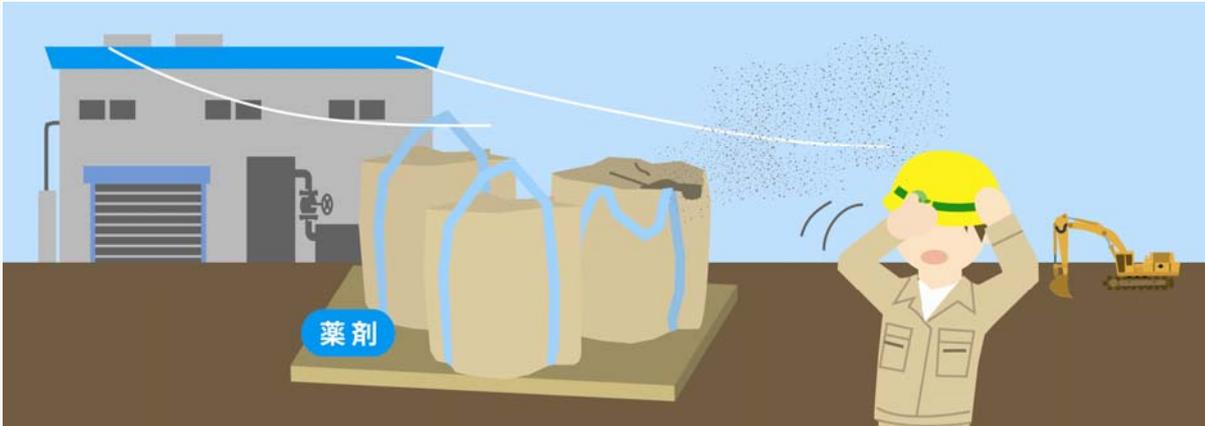


不具合事例

整理番号 T-11-001

タイトル	薬剤の飛散！		
工種	<input type="checkbox"/> 調査 <input checked="" type="checkbox"/> 対策	フェーズ	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 作業中
対象汚染物質	第一種特定有害物質、第二種特定有害物質、第三種特定有害物質		
土地履歴	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地 <input checked="" type="checkbox"/> 工場跡地 <input checked="" type="checkbox"/> 特定有害物質使用工場 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
説明図	<p style="text-align: center;">「強風注意！ 薬剤が飛散」</p> 		
作業内容	薬剤管理		
使用機器			
不具合事項	<ul style="list-style-type: none"> ・突風によって、鉄粉や酸化剤などの粉末状の薬剤が仮置きヤードから飛散し、作業員の目に入ってしまった。 		
予防措置(計画者・監督者・作業員)	<p>①作業手順と事前の安全教育内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブルーシートで覆う等の飛散防止の対策をとる。(計画者・監督者) ・使用する薬剤の化学物質安全性データシート (MSDS) を準備し、わかりやすい位置に貼っておく。(計画者・監督者) ・薬剤置き場を決めて品名を明示する。(計画者・監督者) ・危険物の程度をツールボックスミーティングで作業員に説明し周知する。(計画者・監督者) ・緊急時の応急薬品などを常備し、置き場所を周知する。(計画者・監督者) ・使用する薬剤がどんな物で、どんな措置が必要なのか知っておく。(作業員) <p>②責任者としての現場管理(適宜の作業指示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護具を着用する。(作業員) ・化学物質安全性データシート (MSDS) がどこにあるのか作業時に把握しておく。(作業員) ・使用後の養生を確実にする。(作業員) 		
応急措置	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて作業員を医療機関へ連れていく。 ・ブルーシート・土のう等で飛散防止の対策を取り、必要に応じて仮囲い等を設ける。 ・化学物質安全性データシート (MSDS) に沿って、早急に適切な措置を行う。 		
その他、留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤の管理に際しては、消防法 毒物及び劇物取締法 労働安全衛生法等に基づいて行う。¹⁾ 		
関連法規等、出典	1) 土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン暫定版 p. 259		
キーワード	薬剤、鉄粉、飛散		
発生頻度	<input type="checkbox"/> 多 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 少	重大性	<input type="checkbox"/> 致命的 <input checked="" type="checkbox"/> 重大 <input type="checkbox"/> 軽微